

平成 28 年 4 月

インスリンポンプご使用の患者様へ

日本メドトロニック株式会社
ダイアビータス事業部
事業部長 小松 久人

空港セキュリティ「ボディスキャナー」検査通過の際のご注意点について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、御礼申し上げます。

さて、この度、国内の 4 つの空港②に、「ボディスキャナー」①が導入されることになりました。

インスリンポンプおよびトランスミッタをご使用の患者様が、「ボディスキャナー」を通過される際に、下記の通り注意が必要となります。③ これは、既に「ボディスキャナー」が導入されている海外の空港での通過方法と同様となります。

通過の際のご注意点は下記「エアポートカード」④に記載されております。

より高品質な製品供給を目指して一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

① ボディスキャナー検査とは

下記図のように、決められたポーズで数秒間停止し、異物を探知する検査



(国土交通省資料より引用)

② 導入される空港と導入時期

< 関西国際空港 >	2016 年 4 月 1 日(金)から導入開始
< 中部国際空港 >	2016 年 4 月 11 日(月)から導入開始
< 羽田空港 >	導入時期未定
< 成田空港 >	導入時期未定

③ 通過方法

下記の通り、インスリンポンプ、トランスミッタを外し、係員にお渡しください。

1. ポンプをカニューレから外してください。
2. トランスミッタをセンサから外してください。
3. ポンプ、トランスミッタをボディスキャナー検査および手荷物 X 線検査に通さないよう、ご依頼ください。
4. 検査後は、ポンプ、トランスミッタを再度装着してください。再装着後は、血糖自己測定にて血糖に変動が無いかをご確認ください。

なお、従来の金属探知機による検査はポンプ、トランスミッタを装着したまま通過することが可能です。

インスリンポンプおよびトランスミッタをご使用中の患者様は、以下の「エアポートカード」を携帯いただき、係員にご提示いただきますようお願い申し上げます。

④ エアポートカード



Medtronic

これらのインスリンポンプ、トランスミッタは、航空機通信に危害(影響)を与えるものではありません。
My insulin pump and transmitter do not interfere with aircraft communication.

インスリンポンプ、トランスミッタの情報に関しては ⇒ www.medtronic-dm.jp

販売名:メドトロニック ミニメド600シリーズ 医療機器承認番号:22500BZX00369000
販売名:パラダイム インスリンポンプ 医療機器承認番号:21700BZY00314000

エアポート医療機器情報カード

※他のインスリン注射手段(インスリンポンプ以外のインスリンペン型注入器やインスリン専用注射針)を必ず携帯してください。

[国内の空港を利用する場合]
ボディスキャナー検査がある場合は、下記に沿ってインスリンポンプ、トランスミッタを外してください。

[海外の空港を利用する場合]
金属探知検査とボディスキャナー検査のどちらかが判断できないことが多いため、下記に沿ってインスリンポンプ、トランスミッタを外してください。

① ポンプをカニューレから外してください。
② トランスミッタをセンサから外してください。
③ **ポンプ、トランスミッタをボディスキャナー検査および手荷物X線検査に通さないように依頼してください。**
英語でいうと: **My insulin pump and transmitter cannot go through X-rays and body scanners.**
④ 検査後はポンプ、トランスミッタを再度、装着してください。
再装着後に血糖自己測定にて血糖に変動が無いかを確認してください。

DIB1604-02

(実寸大)

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

日本メドトロニック株式会社
ダイアビーティス事業部

24 時間サポートライン: 0120-56-32-56

販売名: メドトロニック ミニメド 600 シリーズ 医療機器承認番号: 22500BZX00369000

販売名: パラダイム インスリンポンプ 医療機器承認番号: 21700BZY00314000

販売名: メドトロニック iPro2 医療機器承認番号: 22300BZX00435000